

水稻生育予測システム「でるた™」が好評

～実用化に向けて大規模運用試験を実施中～

千葉県農林総合研究センター 令和4年7月4日発

近年の気候変動や経営規模拡大による移植時期の拡大により、水稻の各種作業適期の把握が難しくなっています。そこで、当センターでは、その年の気象データから水稻の出穂期を予測して、追肥や斑点米カメムシ類対策の作業適期の目安をスマートフォン等で確認できる水稻生育予測システム「でるた™」の開発に取り組んでいます。

今年度は、システムの実用化に向けて、実際のシステム運用等における課題と実用性の確認を目的に、4月から大規模運用試験を行っており、多くの方にご利用いただいています。実際に利用する水稻生産者からは「こういう情報が欲しいと思っていた。」「でるた™」を参考に事前の準備を進めて、適期作業を心掛けたい」との意見を頂いています。

今後、利用者アンケート調査の結果等を踏まえ、システムをより手軽で使いやすく改良し、実用化・普及を図っていきます。

水稻生育予測システム
「でるた™」（運用試験版）
アマダス横芝光

アンケートにご協力ください
回答はこちら

でるた利用規約・利用マニュアル・問合せ先
ご利用の前にご確認ください

品種を選択：

移植日を選択：

「コシヒカリ」4/25移植の生育予測
(6/19までの気象データより)
幼穂形成期 : 6/26
出穂期 : 7/21



水稻生育予測システムの画面

「でるた」の予測と実際の生育を確認

「でるた™」（運用試験版）：<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/system/delta.html>